

英語教育改善プラン推進事業 成果発表会



令和5年2月10日(金)
山梨県教育委員会
義務教育課・高校教育課

Today's Menu

(1) 3年間のあゆみ

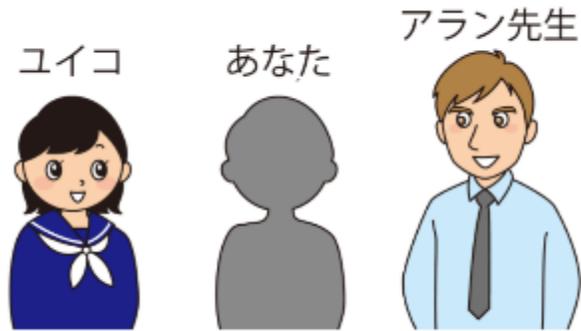
- 令和2年度英語教育改善プラン推進事業（県事業）
中間報告書
- 令和3年度英語教育改善プラン推進事業
提案授業動画・学習指導案
- 令和4年度英語教育改善プラン推進事業
成果発表会・研究指定校実践発表

(2) 成果検証

- 英語教育実施状況調査
- 研究指定校アンケート
- 外部検定試験（第2回英語検定）中学校3年生抽出受験

(3) その他（諸連絡）

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 中学校・英語「話すこと[やり取り]」



大問2 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。

山梨県 正答率 9.4%
全国 正答率 10.5%
(参考値)



A: Look at this picture of my family.

アラン先生が見せている写真



A: This is my favorite picture.

Y: Nice! Who is she?

A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.

Y: I see. What kind of work does your mother do?

A: She is a teacher.

アラン先生が見せている写真



A: Do you have any other questions about them?

(解答時間 20 秒)

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 中学校・英語「話すこと[発表]」

山梨県 正答率 43.7%
全 国 正答率 45.8%
(参考値)

大問3 あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①, ②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。

(考える時間 1分)

それでは、30秒で話してください。

(解答時間 30秒)

話してほしい内容

(①, ②のどちらも話してください)

- ①あなたの将来の夢, または, 将来やってみたいこと
- ②その実現のために頑張っていること, やるべきこと

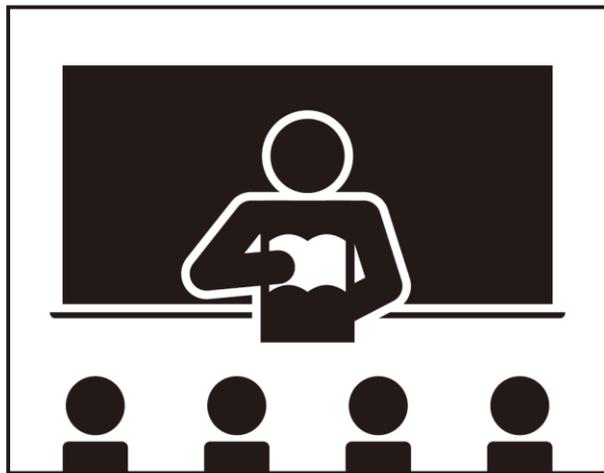


平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 中学校・英語「書くこと」

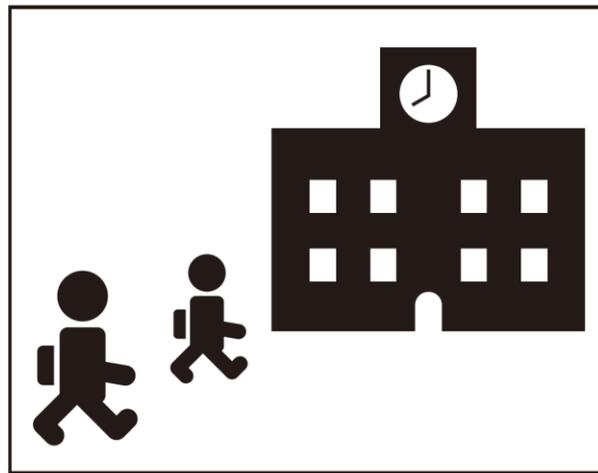
10

海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

【 A 】



【 B 】



山梨県
正答率 1.5%
全 国
正答率 1.9%

※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. **【3語】**

令和2年度 県事業 中間報告書

英語教育改善プラン推進事業

- 小学校において、初めての数値による評価に不安を抱く教員が多い。
- 中学校において、生徒の発信力「話すこと」「書くこと」に課題がある。
- 中学校卒業時CEFR A1取得者の割合が全国平均より低い。
- CAN-DOリストの活用が意識されていない。

CAN-DOリストとは、外国語における学習目標を、4技能5領域ごとに「（英語を用いて）～することができる」という文で設定したもの。

研究指定校4校

○昭和町

常永小学校
押原中学校



○富士河口湖町

小立小学校
河口湖南中学校



目的

小・中学校を通じて、指導と評価の一体化を図り、授業改善を行うことによって、確実に児童 生徒の英語力の育成を図る。

事業内容

- ・教科書の使用を前提とした、小学校の特性を踏まえた効果的かつ持続可能な指導方法や評価方法の研究
- ・児童生徒の発信力を強化するために、「話すこと」「書くこと」等のパフォーマンス評価の効果的な実施
- ・小中学校を通じた英語教育の充実のための評価基準と評価方法の研究
- ・ICTを活用した英語力向上の指導方法や評価手法の推進

県教育委員会

- ・「指導と評価の一体化」をテーマに、有識者を招聘した学習会の実施。（小・中学校）
- ・CAN-DOリスト形式の学習到達目標に基づいた授業作りとパフォーマンス課題例について提示。
- ・パフォーマンス課題の分析及び授業改善の方策を提示。
- ・評価ガイドブック作成・配付

研究指定校（県内2地区）

A：常永小・押原中

B：小立小・湖南中

・CAN-DOリスト形式の学習到達目標に基づいた授業作りについての研究

1年目

・パフォーマンス課題の実施及び分析
・授業改善のための研究（ICTの活用）

2年目

・パフォーマンス課題の実施及び分析
・授業改善のための研究（ICTの活用）
・研究発表会

3年目

期待される成果

- ・評価の方法及び内容の周知
- ・評価に基づいた授業改善
- ・教員の指導力及び児童生徒の英語力の向上

県下への周知、実践の共有化

令和3年度 国委託事業

研究指定校 | 2校

- 常永小学校
- 小立小学校
- 葦崎小学校
- 加納岩小学校
- 睦合小学校
- 丹波小学校
- 押原中学校
- 河口湖南中学校
- 南西中学校
- 長坂中学校
- 甲府昭和高等学校
- 富士河口湖高等学校

山梨県英語教育改善プラン推進事業 (令和3年度～令和4年度)

【背景】

- 第三期教育振興基本計画（2018～2022）及び新学習指導要領。
- グローバル化の進展に伴い、国内外の様々な場面において、外国語で躊躇なく意見を述べ、他者と交流し、共生する力の育成が求められる。
- 外国語教育の強化（小学校外国語教科化、中学校卒業時の英語力CEFR A1 50%以上、高等学校卒業時の英語力CEFR A2 50%以上）

【課題】

- 「話すこと」において妥当性・信頼性のある評価の実施が課題。
- 国の各調査結果から、中・高校生の「話すこと」「書くこと」に課題。
- 中学校卒業時の生徒の英語力 山梨県35.5% 全国44.0%
- 高等学校卒業時の生徒の英語力 山梨県44.7% 全国43.6%
- 「CAN-DOリスト」※1の学習指導・評価への活用が課題。

※1 CAN-DOリスト：外国語における4技能5領域ごとに「～することができる」という学習目標を記述したもの。

【事業目的】

小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語による発信力を向上させるために、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題（パフォーマンス課題）を設定し、指導・評価するモデルを構築する。



令和3年度

Yamanashi Model 構築

～ 「話すこと [やり取り]」を中心とした発信力向上を目指して～

I 話すこと [やり取り] (スモールトーク)



II 言語活動の充実

Yamanashi Model
3本の柱

III パフォーマンス評価

CAN-DOリスト

ルーブリック

Yamanashi Model
支える要素

小・中・高連携

振り返りシート

...

I 話すこと[やり取り] (スモールトーク)

身近な話題や社会的な話題について、既習事項を使った**即興的**なやり取りを**継続**すること。授業の導入や、教科書内のどの活動でも、教科書本文内容を使っても可。

II 言語活動の充実

「**目的・場面・状況等**」に応じて、習った表現を用いて、**児童生徒が思考・判断**しながら、**自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動**。形式的なドリルは、言語活動ではない。身近な話題から社会的な話題まで考えられる。

※話すこと(やり取り)における考え方

※複数の領域を統合した言語活動も可

III パフォーマンス評価

言語活動でパフォーマンス(やり取り)を行ってみることで、何ができて、何ができていないかを**児童生徒に気付かせ**、**共有**し、次のパフォーマンスで**改善**することを目指し、**自己調整を繰り返し**行っていくこと。(中間指導)
そのために指導・評価観点となる「**ルーブリック**」や自己調整を行うための「**振り返りシート**」が必要。**信頼性**、**妥当性**あるパフォーマンス評価を実践。

外国語活動・外国語科 学校段階別・「3つの柱」別の一覧

	小学校中学年 	小学校高学年 	中学校 	高等学校 
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 学校段階ごとの違い(主なもの) 共通の記載 </div>	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による 聞くこと、話すこと の言語活動を通して、 コミュニケーション を図る素地となる 資質・能力 を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による 聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと の言語活動を通して、 コミュニケーション を図る基礎となる 資質・能力 を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による 聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと の言語活動を通して、 簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーション を図る 資質・能力 を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による 聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと の言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、 情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション を図る 資質・能力 を次のとおり育成することを目指す。
<div style="background-color: #004a99; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 知識・技能 </div>	(1) 外国語を通して、 言語や文化 について 体験的に理解 を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ ようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、 読むこと、書くことに慣れ親しみ 、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる 実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能 を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、 文法 、言語の働きなどを 理解 するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる 実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの 理解を深める とともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能 を身に付けるようにする。
<div style="background-color: #008080; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 思考力・判断力・表現力 </div>	(2) 身近で簡単な事柄 について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを 伝え合う力の素地 を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄 について、 聞いたり話したり するとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の 考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力 を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題 について、 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力 を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題 について、 外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力 を養う。
<div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 学びに向かう力・人間性 </div>	(3) 外国語を通して、言語やその背景にある 文化に対する理解 を深め、 相手に配慮 しながら、主体的に外国語を用いて コミュニケーションを図ろうとする態度 を養う。	(3) 外国語の背景にある 文化に対する理解 を深め、 他者に配慮 しながら、主体的に 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 を養う。	(3) 外国語の背景にある 文化に対する理解 を深め、 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮 しながら、主体的に外国語を用いて コミュニケーションを図ろうとする態度 を養う。	(3) 外国語の背景にある 文化に対する理解 を深め、 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮 しながら、主体的、 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 を養う。

小・中・高 連携 接続

「令和4年度指導主事連絡協議会中学校外国語科部会行政説明資料」より抜粋

共通点

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる。
- 言語活動を通して、資質・能力を育成する。

言語活動を通して資質・能力を育成する

「言語活動」「を通して」

「言語活動」

⇒「言語活動」に取り組ませているか？

「を通して」

⇒言語活動「に取り組ませながら」学ばせているか？

「言語活動」に取り組ませているか？

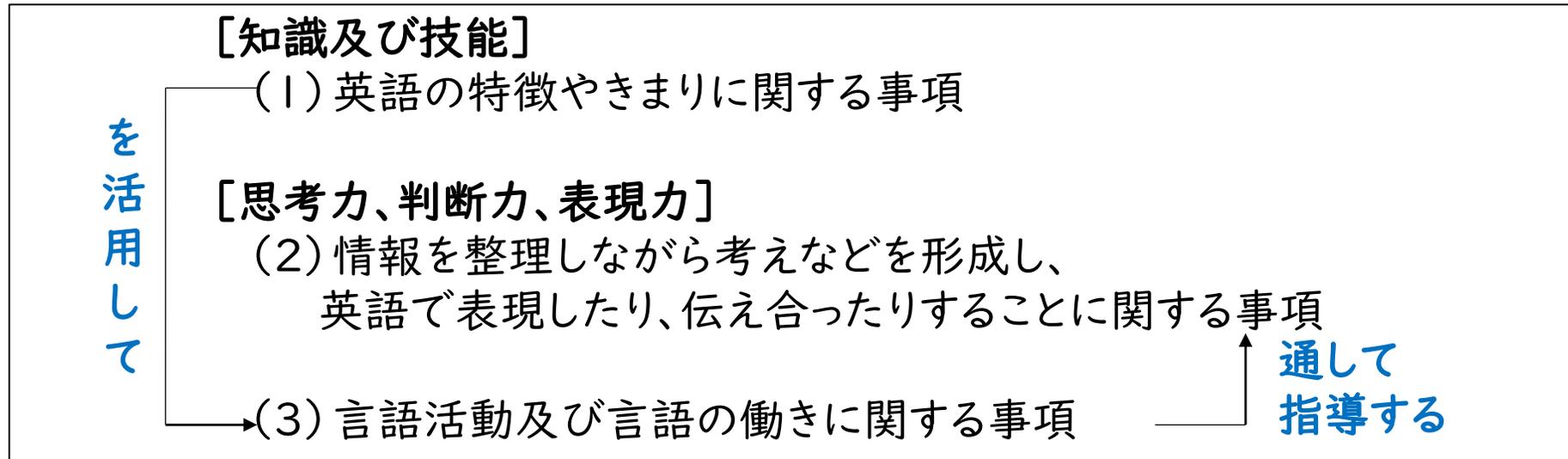
(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

「言語活動」とは、知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成するために取り組ませるもの

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する。

ア 小学校学習指導要領第2章第10節外国語の第2の2の(3)に示す言語活動のうち、小学校における学習内容の定着を図るために必要なもの。



コミュニケーションを行う目的、場面、状況に応じて、

理解・・・概要、要点、必要な情報を捉えさせるなどの活動

表現・・・考えなどを形成させ(表現内容を考えさせ)表現させる活動

生徒が考える

活動前の

与えすぎ×

教えすぎ×

中学校 言語活動例

I 話すこと[やり取り]

II 言語活動の充実

【聞くことの例】

日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。

【読むことの例】

日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

【話すこと[やり取り]の例】

関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

【話すこと[発表]の例】

関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。

【書くことの例】

趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

言語活動に「取り組ませながら」学ばせているか？

練習

理解させ、
できるように
してから



言語活動

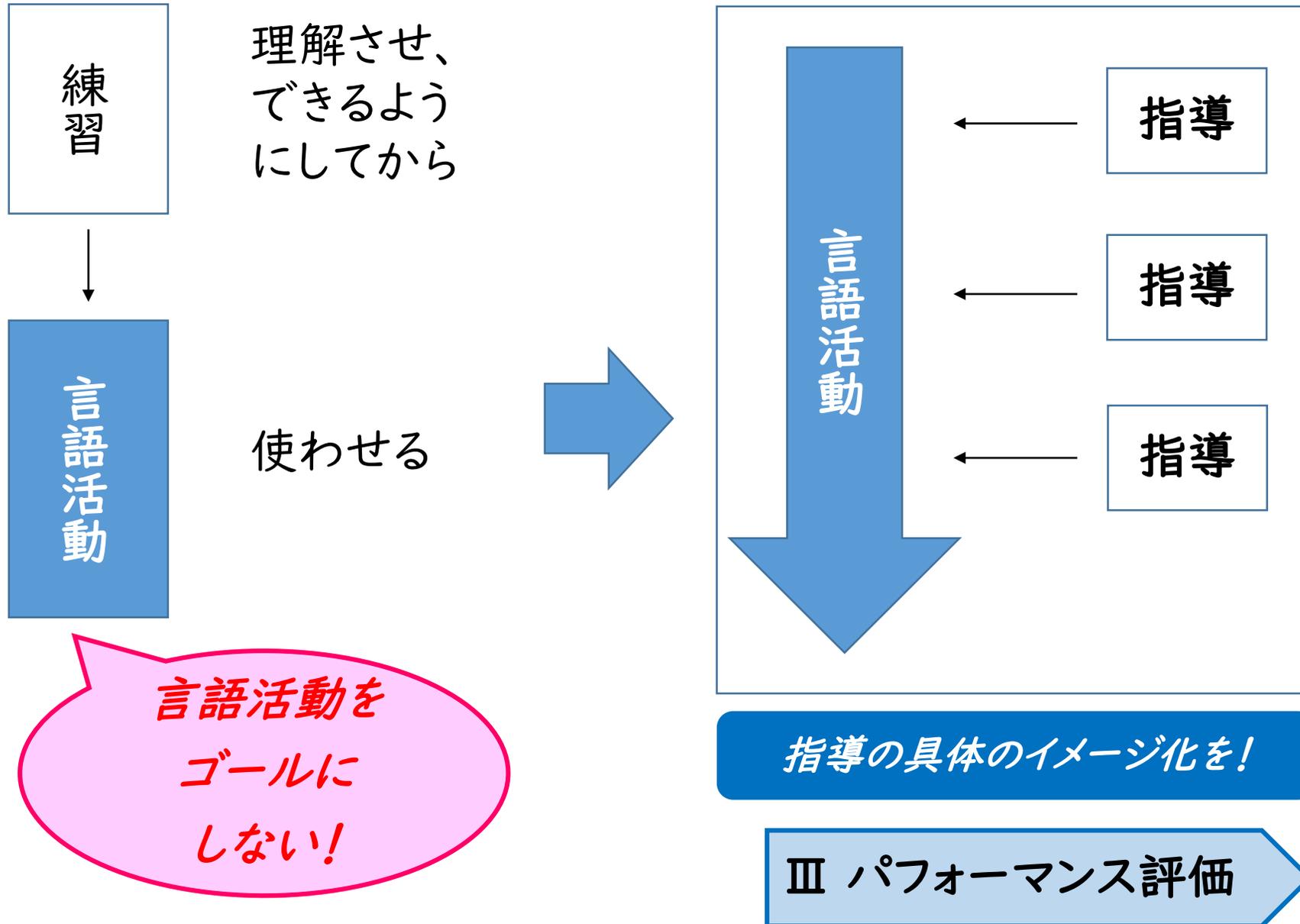
使わせる

言語活動を
ゴールに
しない!

展開案

1. 帯活動
2. 導入（本時の課題）
3. 練習
4. コミュニケーション活動
 - (1) ペアで
 - (2) グループで
5. 振り返り

言語活動に「取り組ませながら」学ばせているか？



山梨県版

CAN-DOリスト

小・中・高を通じた

「話すこと[やり取り]」

Challenge List

- ア 学級の友達、先生、ALT等に挨拶、感謝を伝えたり、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。
- イ 自分ことや身の回りの物について、ジェスチャーや表情を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
- ウ 学級の友達、先生、ALT等のサポートを受けて、自分や相手のことや身の回りの物等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり答えたりするようにする。

中1

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興である程度継続して伝え合うことができる。
(※) ①相手に聞き返し、確かめ ②相づち、つなぎ言葉 ③相手の答えを受けて、自分のことを伝える ④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える
- イ 日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

小6

- ア 初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、自分で考え判断してそれらに応じたり、断ったりすることができる。
- イ 日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、相づちを打ったり、質問したりして、ある程度継続して伝え合うことができる。
- ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、関連する質問をしたり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。

小5

- ア 初対面の人に対しても、進んで挨拶をしたり、基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。
- イ 日常生活の出来事や習慣的なことについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手が言ったことを繰り返したり、応答したり、質問したりして、伝え合うことができる。
- ウ 自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で、自分の力で質問したり質問に答えたりして、短い会話をすることができる。

中2

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興で会話を継続させることができる。
- イ 日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に応答したりして、会話を継続させることができる。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

中3

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、(※)しながら、即興で会話を継続・発展させることができる。
- イ 日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に応答したりして、会話を継続・発展させることができる。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを説明したり、相手により詳しい説明を求めたりするなど、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

高1

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

小・中・高連携の観点から

I 話すこと[やり取り](スモールトーク)

II 言語活動の充実

III パフォーマンス評価

令和3年度提案授業動画より



小・中・高連携の観点から 話すこと[やり取り]

Challenge List 3年

学級の友達、先生、ALT等のサポートを受けて、自分や相手のことや身の回りの物等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり答えたりするようにする。



CAN-DO List 中I

日常的な話題について、限られた時間で事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。



CAN-DO List 高I

日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。



研究指定校提案授業動画・学習指導案等活用例

Yamanashi Model 構築

～「話すこと [やり取り]」を中心とした発信力向上を目指して～

I 話すこと[やり取り]

II 言語活動の充実

III パフォーマンス評価

小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語による発信力を向上させるために、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題（パフォーマンス課題）を設定し、指導・評価するモデルを構築する。

◎研究指定校

常永小学校 小立小学校 葦崎小学校 加納岩小学校 睦合小学校 丹波小学校
押原中学校 河口湖南中学校 南西中学校 長坂中学校 甲府昭和高等学校 富士河口湖高等学校



提案授業動画の主なポイント

- ☆授業のポイントをまとめたテロップ
- ☆1授業、15分～20分程度
- ☆異校種の授業が視聴可能（小中高連携）



学習指導案の主なポイント

- ☆「指導と評価の一体化」を具体化
- CAN-DOリストに基づいた「指導と評価の計画」・「パフォーマンス課題」「ルーブリック」・「児童生徒の(b)の姿」



言語活動を通して、資質・能力を育成する具体的なイメージは？

英語のやり取りが豊富な授業は、どのように行えばいいの？

CAN-DOリストに基づいたパフォーマンス評価って？指導と評価の一体化って？

異校種の授業を見たいなあ。



山梨県の英語教育の課題（英語教育実施状況調査結果より分析）
・CAN-DOリストを児童生徒と共有し、評価に生かすことに課題がある。
・校種があがるにつれて、言語活動時間や教師の英語使用量が減少する。
・求められる英語力を有する生徒・教師の割合が低い。

校内研究会・英語部会・研修会等で活用できます！



- ・自分の実践の振り返り。
- ・講師等による学習会。
- ・小中高の教師が情報交換。

研究指定校
提案授業動画視聴
学習指導案参照

- ・自分の実践と動画を比較。
- ・講師等による解説。
- ・グループ協議。⇒指導評価改善

成果物公開

山梨県教育委員会HP 英語教育改善プラン推進事業
<https://www.pref.yamanashi.jp/gimukyo/shido/english/index.html>

- 研究指定校提案授業動画6本 ※限定公開URL別紙
- 研究指定校学習指導案17本
- 第1回～第3回ワーキング会議資料（全体会・分科会）



※グループウェアキャビネットからもダウンロードできます。
山梨県教育庁義務教育課>英語教育改善プラン推進事業>学習指導案等

小・中・高を通じた山梨県版学習指導案 ～目標と指導と評価の一体化～

特徴

バックワードデザイン

- ①CAN-DOリストを単元目標へ
- ②(複数)単元末パフォーマンステスト
3観点ルーブリック・児童生徒のbの姿
- ③指導と評価の計画
指導に生かす評価・記録に残す評価
- ④本時の展開 など



研究指定校学習指導案

山梨県英語教育改善プラン推進事業 (令和3年度～令和4年度)

令和4年度 国委託事業

【背景】

- 「第3期教育振興基本計画(2018～2022)」及び新学習指導要領。
- グローバル化の進展に伴い、国内外の様々な場面において、外国語で躊躇なく意見を述べ、他者と交流し、共生する力の育成が求められる。
- 英語教育の水準の向上(小学校における質の高い指導体制の充実、中学校卒業時の英語力CEFR A1 50%以上、高等学校卒業時の英語力CEFR A2 50%以上、小・中・高等学校を通じた教師の英語による指導力向上)

【課題】

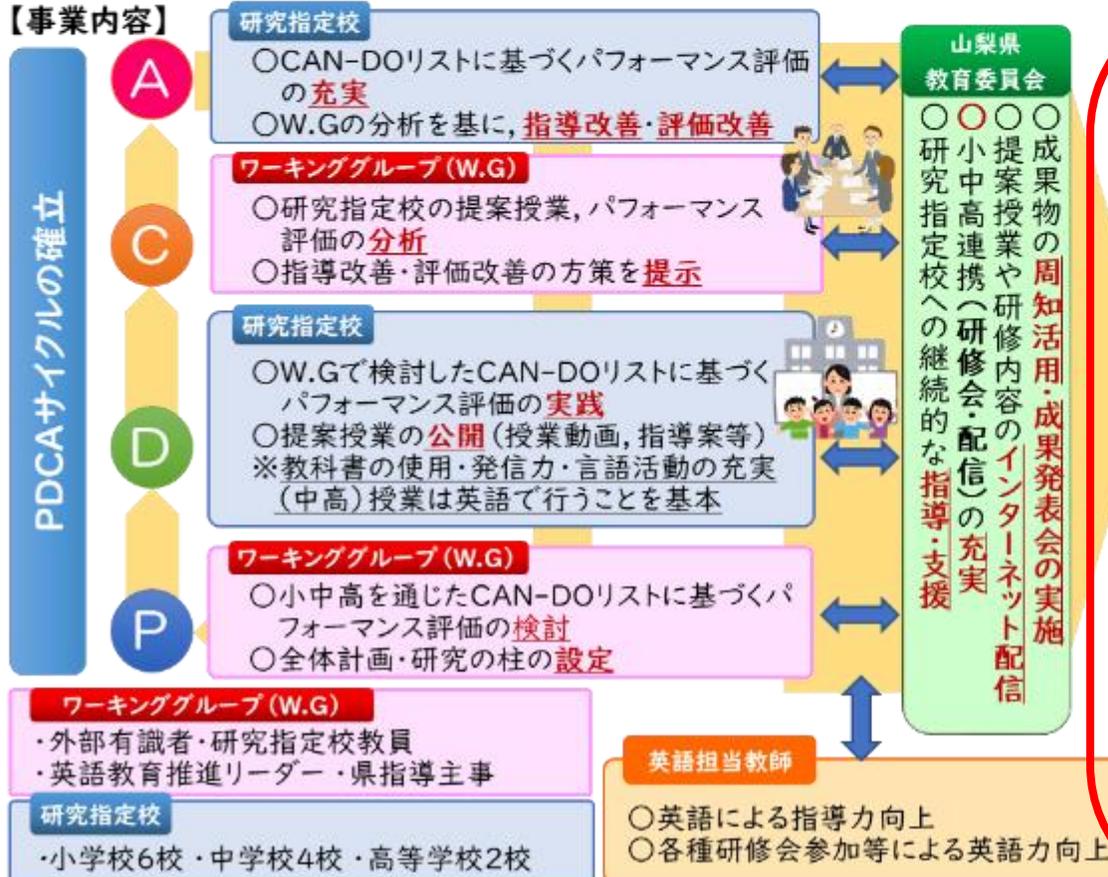
- 「話すこと」において、英語による指導や信頼性・妥当性ある評価に課題。
- 国の各調査結果から、中学生・高校生の「話すこと」「書くこと」に課題。
- 中学校卒業時の生徒の英語力 山梨県39.3%(R3)
高等学校卒業時の生徒の英語力 山梨県48.9%(R3)
- 教師の英語力 山梨県中学校32.0%(R3) 高等学校82.2%(R3)
- 「CAN-DOリスト」※1の学習指導・評価への活用が課題。

※1 CAN-DOリスト：外国語における4技能5領域ごとに「～することができる」という学習到達目標を記述したものを。

【事業目的】

小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる発信力を向上させるために、**実際の目的・場面・状況に応じて英語を活用する課題(パフォーマンス課題)を設定し、言語活動を通して、指導・評価するモデルを充実させる。**

【事業内容】



小・中・高等学校

- 校内研究会等で成果物の活用
- 言語活動を中心に据えた授業実践
- 小中高連携の充実



県下・全国に波及する効果

- 児童生徒が、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う発信力の強化。
- 小・中・高等学校を通じたCAN-DOリストに基づくパフォーマンス課題を年間指導計画に位置付け、指導・評価するモデルの充実。
- 教科書(デジタル教科書を含む)を使用した効果的かつ持続可能な指導方法や評価方法の開発。
- 小中高連携の充実(指導・評価、内容・方法の共有)
- 授業における、言語活動時間と英語使用量の増加。
- 英語担当教師の指導力・英語力の向上。

児童生徒の
英語発信力向上



3年間の研究成果を県内外へ発信

教師の指導力・英語力の向上

児童生徒の英語発信力向上

令和4年度

Yamanashi Model 充実

～発信力向上を目指して～

キーワード

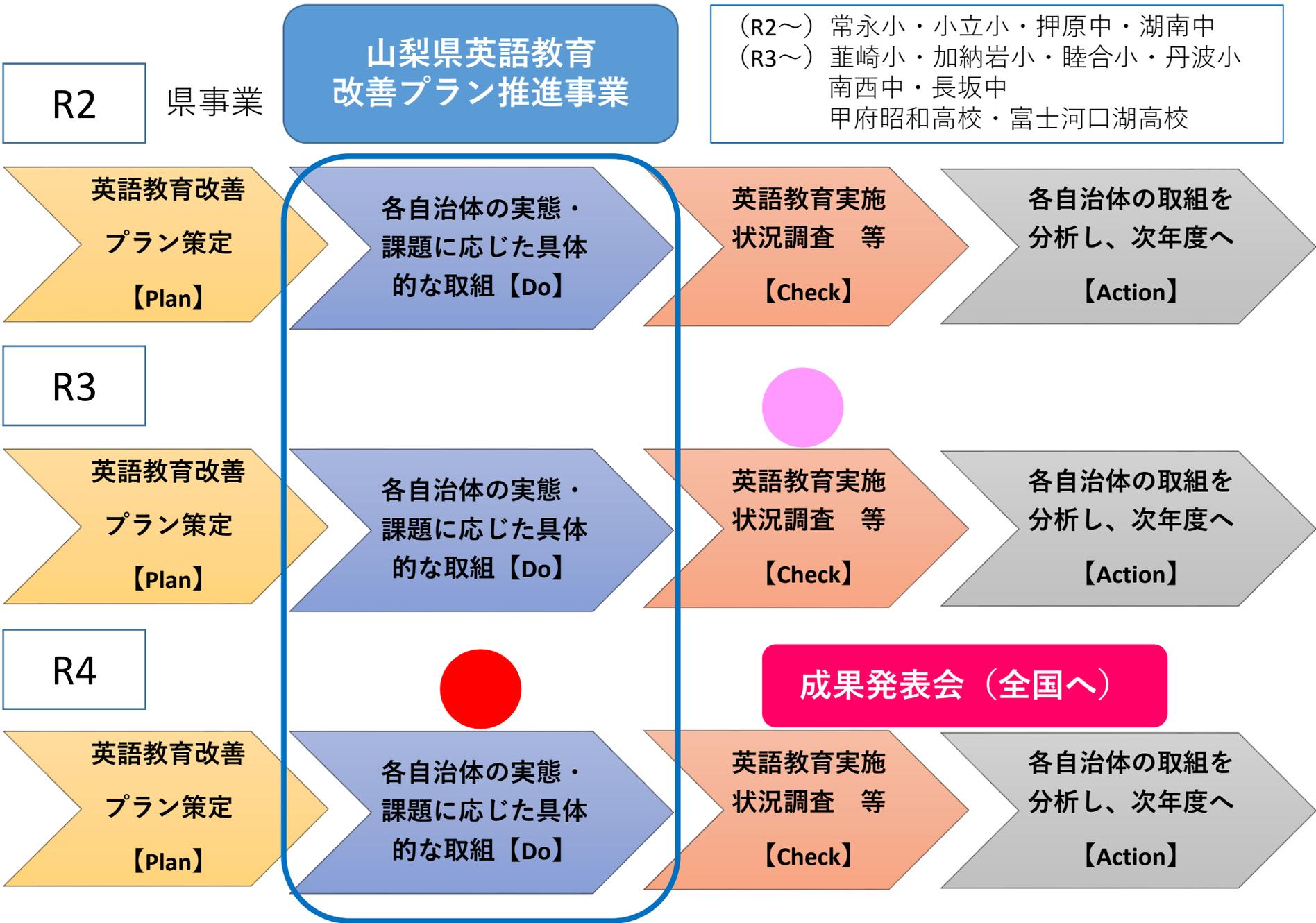
柱1：児童生徒の**発信力**（話す・書く力）の充実

柱2：**言語活動**の充実

柱3：**パフォーマンス評価**の充実



- **小中高連携・接続**
- 教師の**英語による指導力**向上（質の高い指導体制の充実）
- **全国的な英語教育**の水準の向上、**持続可能な体制**の構築



ア 「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標を評価に活用することに関する課題がある。

○「CAN-DOリスト形式による学習到達目標の整備状況」について

	(ア) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学校		(イ) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校		(ウ) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している学校	
	山梨県	全国平均	山梨県	全国平均	山梨県	全国平均
小学校	98.2%	78.7%	21.7%	29.4%	65.1%	61.1%
中学校	100%	94.7%	37.5%	47.7%	73.8%	67.5%
高等学校	100%	94.0%	88.4%	54.5%	93.0%	57.4%

○「パフォーマンステストの実施状況」について

	パフォーマンステストを実施している学校	
	山梨県	全国平均
小学校(S)	97.9%	96.8%
中学校(S/W)	90.8%	90.5%
高等学校(S/W)	49.1%	38.4%

令和3年度英語教育実施状況調査結果

イ 校種があがるにつれて、言語活動時間や教師の英語使用量が減少する。

○「授業における、児童生徒の英語による言語活動時間の割合」について

	授業の半分以上の時間、言語活動を行っている	
	山梨県	全国平均
小学校	94.0%	92.0%
中学校	68.8%	71.3%
高等学校	50.0%	50.3%

○「授業における、英語担当教師の英語の使用状況」について

	授業の発話の半分以上を英語で行っている	
	山梨県	全国平均
中学校	70.8%	73.4%
高等学校	46.8%	46.0%

※「英語教育に関わる小中連携」について

英語教育に関する小中連携を実施した	
山梨県	全国平均
83.8%	72.5%

令和3年度英語教育実施状況調査結果

ウ 求められる英語力を有する生徒・教師の割合が低い。

○「求められる英語力を有する生徒の割合」について

中学校	山梨県	全国平均
外部試験を受験したことがある生徒	31.4%	45.5%
CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒	21.0%	27.2%
CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒	18.3%	19.8%
求められる英語力を有する生徒	39.3%	47.0%

高等学校	山梨県	全国平均
外部試験を受験したことがある生徒	52.6%	53.0%
CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒	36.9%	31.2%
CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒	12.1%	14.9%
求められる英語力を有する生徒	48.9%	46.1%

○「求められる英語力を有する教師の割合」について

	CEFR B2レベル以上等を取得している教師	
	山梨県	全国平均
中学校	32.0%	40.8%
高等学校	82.2%	74.9%

○R3年度調査結果から見えてきた課題

ア 「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標を評価に活用することに課題がある。

⇒ 柱3:パフォーマンス評価の充実 亀谷みゆき教授

イ 校種があがるにつれて、言語活動時間や教師の英語使用量が減少する。

⇒ 柱2:言語活動の充実 太田洋教授

ウ 求められる英語力を有する生徒・教師の割合が低い。

⇒ 柱1:発信力の充実 田中武夫教授

○R4年度取り組むべきポイント(=提案授業のポイント)

※大学教授の指導助言より



➤ T-S Interaction

意味のあるやり取り 既習表現にどう触れるか? 児童生徒からどう引き出すか?

➤ 教科書の本文の活用 How about you? What do you think?

➤ 日々の授業の言語活動 単元末の言語活動・パフォテは充実

➤ 領域統合型の言語活動

良質なインプットとアウトプット 児童生徒が思考する発問

➤ 言語活動と言語学習のバランス

➤ ICT・学習者用デジタル教科書等の活用

➤ CAN-DOリスト→年間指導計画・パフォーマンステスト

➤ 県全体・全国への周知・授業動画の活用



令和4年度
研究内容
提案授業動画
13本

- ①英語使用が豊富な言語活動を中心に据えた授業づくり
- ②パフォーマンス評価
- ③教科書（デジタル教科書）の活用
- ④CAN-DOリストの活用
- ⑤小・中・高連携
- ⑥海外の児童生徒やALT 等と直接コミュニケーションを行う取組
- ⑦自治体連携による英語教育改善のためのアライアンス
（山梨県・静岡県・三重県・鹿児島県）
- ⑧外部検定試験（実用英語技能検定）による成果指標（中3）
- ⑨成果発表会（全国へ：県外オンライン参加）
- ⑩山梨県英語教育改善プラン推進事業YouTubeチャンネル開設
Yamanashi English Channel (YEC)

成果指標（検証）

①「英語教育実施状況調査」

②「研究指定校アンケート」

③「研究指定校振り返りシート」

④「パフォーマンス動画 経年比較」

⑤「外部検定試験（実用英語技能検定）」（中）

⑥「授業動画視聴アンケート（アーカイブ動画・オンライン配信）」

⑦「ワーキンググループ有識者による分析検証」

⑧「令和5年度全国学力・学習状況調査」



Thank you for your attention.